

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 経企-03 ☒ 支 援 部 門										行財政改革推進事業												
主管課	経営企画課										関連課		行革推進課										
分野名	行財政運営																						
目標 (目標値)	行政評価の結果を第2期基本計画の進行管理として活用する。第2期基本計画の27分野の施策進行評価(内部、外部)を継続する。																						
人口等の データ	データ区分	22年度					21年度					20年度					備 考						
	人 口	177,161人					176,669人					176,484人					・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世 帯 数	78,812世帯					78,131世帯					77,430世帯											
	事業の対象者数																						
運営資源 状 況	決算値(千円)	684					637					600											
	(国・県)																						
	(負担金等)																						
	(一般財源)	684					637					600											
	人員配置数	2.0					1.5人					2.0人											
	人 件 費(千円)	17,235					13,770					18,970											
	協 働 の パートナー	鎌倉市民評価委員会					鎌倉市民評価委員会					鎌倉市民評価委員会											
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	17,919					14,407					19,570											
	市民1人当 りの経費(円)	101					82					111											
	対象者1人 当りの経費(円)																						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	三浦市	茅ヶ崎市																	
	施策進行評価	実施中	実施中	実施中	試行中																		
	事務事業評価	実施中	実施中	実施中	試行中	実施中																	
	外部評価	実施中	実施中	実施中																			
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)																
政策分野別目標指標の目標達成率(平成27 年度目標)	×	目標値	100%	100%	100%	100%	100%																
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	29.1%	25.2%																			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。										②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。									
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。										④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。									
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)										⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
行財政改革推進事業	684千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	△	④公平性	○	⇒	□A	□B	☒ C	□D	□E							
	事業の概要	事業仕分け及び調査の実施、事務事業評価、施策進行評価の実施、鎌倉市民評価委員会による外部評価の実施																				
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E							
	事業の概要																					
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E							
	事業の概要																					
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E							
	事業の概要																					
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E							
	事業の概要																					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)									
H22年度の課題	(施策進行評価)これまでの取組に対する評価と今後の展開が整理されておらず、課題と方針が伝わりにくい。								
課題解決のための取組	施策進行評価の評価シートを改良し、評価結果を見やすくするとともに、分野ごとの取組の評価と今後の方針が事業の列記とならないよう、施策総体としての評価を実施するようにする。 事務事業評価の評価シートを改善し、事務事業を実施するうえでの一層の活用を図る。								
未解決の課題	行政評価の取組は徐々に理解を得てきているが、評価結果が目標指標の向上に結び付いていない。指標の向上につながる事業を構築できるよう、更に、評価の取組に対する理解を得る必要がある。								
今後の方針	今年度改定した施策進行評価シートや事務事業評価シートを更に活用し、実施計画事業や事務事業を充実させ、指標の向上を図っていく。								
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	C	※ ☐ 事業完了	課長名	経営企画課長 比留間 彰			

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
行財政改革推進事業	969	行政評価アドバイザー等報償費	480	474	■適切 □見直し余地あり
	969	事業仕分け事務補助用臨時的任用職員	1,008	182	□適切 ■見直し余地あり
	主な個別事業				
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり